Press Release

2003年07月25日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン車両整備センターが、「ISO 14001」の認証を更新
―「環境保全活動」で、2002年度の自己数値目標を好成績でクリア ―

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社（略称：VGJ、代表取締役社長：梅野 勉、本社：愛知県豊橋市）は、同社が車両整備センターで推進する環境対策「ISO 14001」の定期監査において、2002年度に設定した自主環境改善目標を好成績でクリアし、監査法人であるTUVプロダクトサービスジャパンから7月7日（月）に正式に認証の更新を受けました。

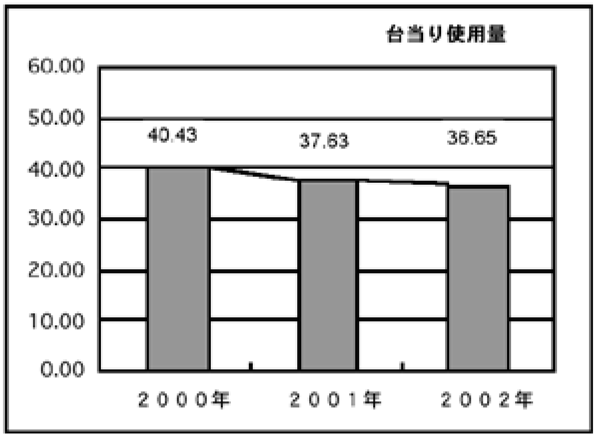
VGJでは、1992年10月に本格稼動した本社施設（豊橋インポートセンター）建設当初より、地元周辺の環境負荷を低減させるための取り組みを自主的に行って参りました。その後、2000年1月には、「ISO 14001」に基づいた「環境保全活動」をスタートさせ、1）資源とエネルギーの有効活用、廃棄物の削減 / 2）環境汚染防止のための対策と従業員の教育、訓練 / 3）法規制を遵守し、さらに高い自主目標に取り組み環境保全に対する社会的責任を果たす / 4）協力会社を含む全ての従業員が、環境保全に対する高い自覚と責任を持ち日常業務を通して改善に取り組む。という環境方針を掲げ、2000年7月の認証以降初めてとなる今回の初回監査（3年毎の実施）で更新が認められました。

具体的な環境実績としては、電気、水道、灯油の使用量および、廃棄物の削減とリサイクルで成果をあげているほか、現在の活動としては、車両輸入時の外装保護として使用されているワックスの全廃に取り組んでいます。

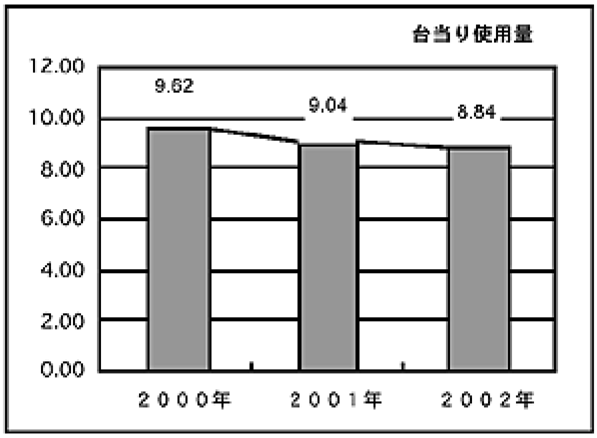
フォルクスワーゲンでは、これからも企業としての社会的責任を果たすべく「ISO　14001」に則った環境保全管理を徹底し、高品質なフォルクスワーゲン車を全国のお客様にお届けすることで、高い顧客満足度を維持するよう、さらなる努力を重ねて参ります。

VGJ車両整備センターが実施している削減目標アイテムと削減率は、下記のとおりです。

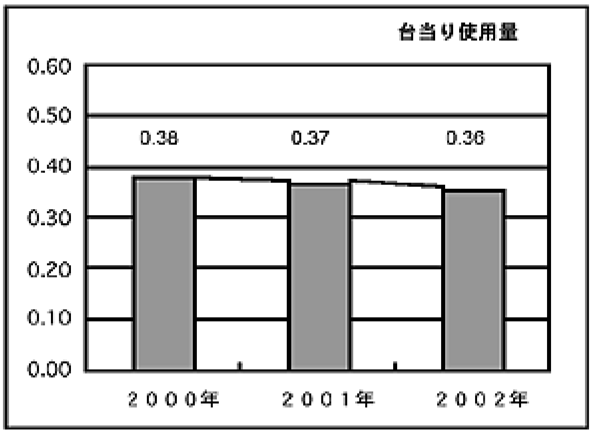
電気使用量　単位：kwh/台



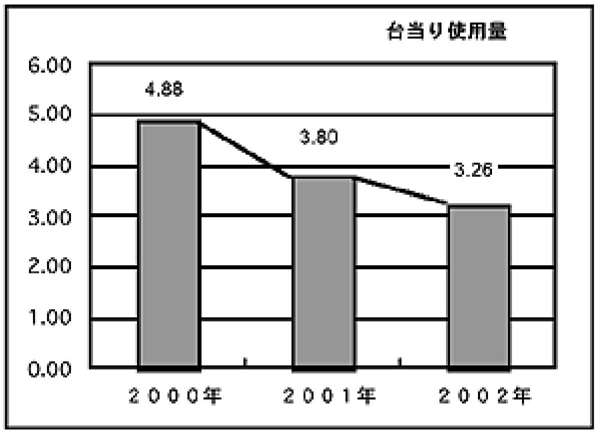
灯油使用量　単位：L/台



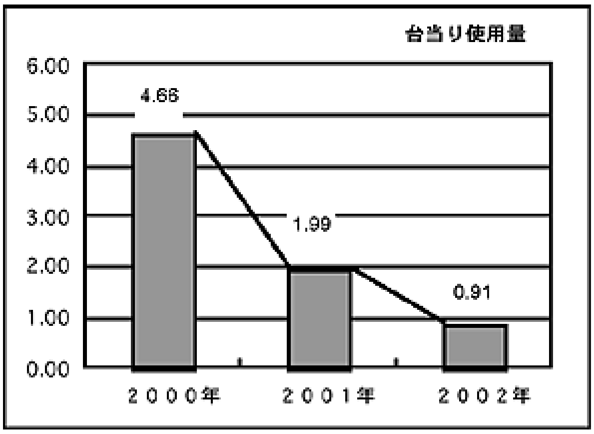
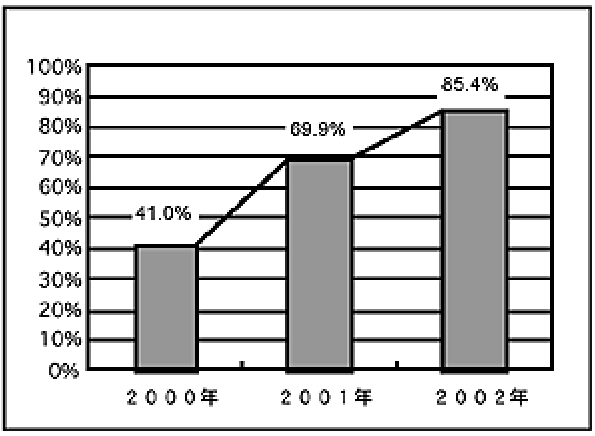
水道使用量　単位：m³/台



デワックス溶剤使用量　単位：L/台



廃棄物処理量（リサイクル除く）**単位：kg/台**



廃棄物リサイクル率　単位：%